

「東吾妻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」に対する

パブリックコメントの結果について

①パブリックコメント（意見募集）の募集期間

平成28年2月10日（水）～平成28年2月22日（月）

②意見の提出方法

郵送、持参、FAX、Eメール

③閲覧場所

東吾妻町ホームページ、役場企画課、各支所

④意見の募集結果

受付件数 1件

提出方法 持参1件

⑤意見の提出について

意見総数 6件

⑥提出意見の概要と本町の考え方について

No.	意見の概要	本町の考え方
1	<p>この素案では”目指すべき将来の方向性”としての「基本理念」にはじまり、3つの「目指すべき姿」と、6つの「基本戦略」が策定されており、「方向性」は示されたと考える。今後は、「町人口ビジョン」を達成する為の”具体的な実行プラン”の策定であろう。「未来創生の姿を実現するための基本戦略」の6つの柱に対し、個別の「具現化実行プラン」が必要となる。是非、早期のスケジュール化と実行を達成して欲しい。</p>	<p>ご意見のとおり、P-16からありますアクションプランの計画に沿って迅速に進めてまいります。また、計画実現に向けて推進体制を調べてまいります。庁内推進体制の整備にあわせ、町民・関係団体等の参画、連携を図りながら施策の展開を行ってまいります。</p>
2	<p>産業の活性化と雇用創出について P-36以降に示されている産業別就業者の推移は、東吾妻町の現状の姿である。第一次産業人口が、県平均の約2.8倍にも係わらずこの40年間では、就業者が約74%も減少しており、大きな課題となっている。農林業の衰退が顕著である事を示す。後継者不足としているが、他の理由も再検討すべきと思う。 また、第二次産業人口もこの40年間では約24%の減少で、問題であると考え。製造業の企業誘致はほとんど進んでいない。商工会議所や県企業局との連携で、誘致の促進を進めるべきである。それには、中学校の統合跡地は有効な町資産と考える。当町は立地的に、県北西部の山間部に位置し、観光地である草津温泉と高崎市等の市部の中間にあり中途半端な中間地点だと考える。特徴のある独自色など出さない限り、近隣町村に埋没する恐れがあるので注意したい。</p>	<p>総合戦略では、町の産業や雇用について検討してまいります。ご指摘の農林業における後継者不足の原因についても関係機関等と連携を図りながら調査・検討を行ってまいります。 また、企業誘致につきましては、P-17⑨企業誘致セールス事業にてご指摘の内容を踏まえ雇用の場の拡大等推進してまいります。 中学校跡地利用につきましては、上位計画であります東吾妻町総合計画等で検討してまいります。</p>
3	<p>第一次産業就業者の雇用創出について 専業農家、畜産業者、林業者について、内容・規模・年齢などの整理、調査が必要である。また、商品のブランド力がどの程度認知されているかも確認したい。その上で”JAあがつま”と連携をとり、規模拡大、就業者数の増加の施策を検討する。但し、今回の地方創生は全国的な課題であり、各市町村が計画立案を実施しており、テーマによっては、競争企画となろう。この第一次産業活性化については、近隣町村と共通テーマとなりうる。従って”JAあがつま”を巻き込んだ解決策となりそうである。但し、東吾妻町独自の地域を活かした高原農業やハウス栽培・果樹園など活性化可能なテーマは多い。どのように町が支援していくのか、大規模農業化の難しい山間地区では”町とJA”の指導力が必要だ。</p>	<p>この計画の推進にあたっては、産業団体、大学、交流自治体、金融機関等との積極的な連携を図るとともに、町民の参画を呼び掛け、地域に根ざした施策を展開してまいります。ご提案のとおり各種団体等との連携も視野に入れながら推進してまいります。</p>
4	<p>観光業の振興について 今後、10年～20年の中で地域性を活用した開発テーマは存在すると思う。一例を挙げてみる。その一つは箱島湧水関係のものだ。上信自動車道の開通に合わせて、更なる開発は多くの雇用を増進すると思う。現状把握ができていないので具体的な提案は出来ないが、見直してはどうか。 鱒・岩魚の養殖、螢の里としての観光化、水力発電の観光化などが地域性を活用した開発テーマとなろう。</p>	<p>観光振興についてアクションプラン「②観光案内拠点施設等整備事業」において観光情報やまちの魅力の発信を行ってまいります。 上信自動車道の開通を見据え、町内に点在します観光スポット等を精査し、地域の活性化と合わせた観光振興を推進していきます。 ご提案の箱島地区につきましても含めた中で検討してまいります。</p>

5	<p>この地域では自動車の主たる移動手段である。上信自動車道が開通したときがチャンスであると思う。町は駅南に橋を作り、上信自動車道と直結する事を推進しているが、それだけでは片手落ちであると考え。そこで、提案である。「上信自動車道から橋を経由し、駅北のバイパスとを直結する」ことをそれにはとてつもなく大きな課題が持ち上がる。つまり”原町駅の移動”である。しかし、今後町庁舎の新築も必要な課題の中で、原町駅南周辺の再開発を考えた時、全く夢物語ではないと思う。</p>	<p>このご提案につきましては、上位計画であります、東吾妻町総合計画等で検討してまいります。</p>
6	<p>40代・50代の職員には次の事をお願いする。10年前、東村と吾妻町が合併した。その時に”合併後の東吾妻町の姿”を描いたと思う。その絵と現在の町の姿を比較して頂きたい。当然、”達成できたもの”と”出来なかったもの”がある。それが何故であったかの考察を行い、今回の「町人口ビジョンを達成する」為の短期的な実行プラン（5年後・10年後の姿）に活かして欲しい。”合併後の10年間の変化”を考察する事は非常に大切なことと考える。この10年間に実施した政策の成果は、対費用効果を見る上で大変参考になると考える。</p> <p>20代・30代の若手職員には次の視点で、計画立案に参画して頂きたい。今回の地方創生は、全国的なテーマ（人口減少・少子高齢化など）であり、対策・活動は、全国的な規模と競争である事を常に意識すること。また、自分達がこのまま東吾妻町に住みたいと思う内容の施策や、自分達の子供がこの町に定住出来る様な大胆な計画を提案して貰いたい。”30年後の東吾妻町を自分達が作る”の気持を持つことである。</p>	<p>総合戦略の策定に関わらず、町の将来について検証するべきものと認識しております。</p> <p>頂きましたご意見については、今後、総合戦略を推進していく中で参考にしてまいります。</p> <p>また、総合戦略の策定作業に関し、昨年4月から職員での起草作業を進めてまいりました。その中でU35（35歳以下）分科会を編成し若い職員からのアイデアや意見を聞く機会を作り意見反映を行っております。今後ご意見にございますよう進めてまいります。</p>